



ラマダンとれんたい

しんあい なる ムスリム の みなさま！

わたしたちの ぜんのおの しゅ（スプハーナ ワ タアーラー）は、つぎの ように つげて おられます。

「しんこうしゃの だんじよは、たがいに みかた どうし。」¹

わたしたちの よげんしゃ 齋は、ハディースの なかで こうかたっています。「だれであれ、ムスリムの げんせでの くるしみを やわらげるものには、アッラーが ふっかつのひの くるしみを やわらげてくださるだろう。」²

しんあい なる ムスリム の みなさま！

イスラーム ぶんめいは れんたいの ぶんめい です。しんこうしゃは ちじょうにおける この ぶんめいの たいげんしゃです。ほんとうに、わたしたちの すうこうな しゅうきょうである イスラームは、いつでも れんたいの ころを まもる よう めいじています。ぜんのおの アッラー（スプハーナ ワ タアーラー）は つげて おられます。「こうけつと とくしんを もって たすけ あいなさい。」³ また、あいすべき よげんしゃ 齋は、わたしたちに こうかたっています。「しんこうしゃは、たがいに にとって ほきょう しあう たてももの いちぶの ようなものである。」⁴

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

トルコ きょうわこく しゅうむちょうでは、まいとし ラマダンづきには たいせつな テーマを ひとつ とりあげています。ことしの テーマは「ラマダンと れんたい」です。さいがいに かんする しゃかいてきにんしきを こうじょうさせ、くるしんで いる きょうだい しまいを しえん するために さいぜんをつくします。インシャアッラー、ザカートや そのほかの にんいの きふにより、ひさいした きょうだい、しまいのための せいしきな じゅうたくを けんせつ します。

しんあい なる きょうだい、しまいの みなさま！

ラマダンの せいしんてきな かんきょうを きかいと たらえ、ともに きずを いやしましょう。わたしたちの あいとおもいやり、いつくしみの きずなが より つよくなります ように。スフールと イフタールの よろこびと めぐみとともに たいけん しましょう。あいとおもいやりを わかち あいましょう。かなしみや なげきを やわらげましょう。ザカートと サダカのはしを かけましょう。かんだいさが わたしたちを とりまき、りんしよくが わたしたちから とおざかります ように。わたしたちの どうほうあいを えいえんとし、ともに ぜんを ひろめましょう。

へいあん と あんしんが ひろまります ように。れんたいと きょうりよくの せいしんが わたしたちのおこないの よりどころ となります ように。ラマダンの つきが、わたしたち ぜんいんに とりしゆくふく となります ように。

¹ Tawbah, 9/71.

² Abu Dawud, Adab, 60.

³ Ma'idah, 5/2.

⁴ Bukhari, Salah, 88.